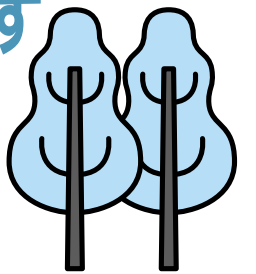


市税・国税の夜間・休日相談窓口 .....2  
3月議会の日程 .....2  
市民協働センター新年度の利用登録 .....3  
保育園で遊びましょう .....4  
市民駅伝大会結果 .....5  
認可保育園の内定発表と欠員募集 .....6  
みたか平和映画祭 .....7  
「遺跡・考古学入門」受講生募集 .....7

## 新しいごみ分別収集にご協力 ありがとうございます



2月1日から市内全域でスタートした新しいごみの分別収集は、市民のみなさんのご協力により、大きな混乱もなく、まずは順調に進んでいます。

この分別収集方法の変更は、限りある地球資源を守り、持続可能な資源循環型社会を目指すための取り組みで、次のような効果があります。

新たにペットボトル、プラスチック類、<sup>ざつごみ</sup>雑紙を分別収集することで、質の高いリサイクルが可能となります。

燃やせるごみの焼却灰が年間約460ト<sup>ン</sup>ほど削減されることになり、埋め立て処分場を延命できます。

焼却量の減少で二酸化炭素の発生を年間約2,800ト<sup>ン</sup>削減できる見込みです。これは約16万本の樹木のCO<sub>2</sub>吸収量に相当し、地球温暖化防止につながります。

お手数をおかけしますが、今後とも、市民のみなさんのご理解とご協力をお願いします。

### ごみの出し方について、みなさんの声

#### 「ごみ出し指導員」地区リーダーの大河内嘉門さん(北野在住)

月曜日から金曜日まで朝7時から、収集日が大きく変更になった地区を中心にごみの出し方の確認をしています。収集日が変更になってから半月ほど経ちますが、みなさん、おおむねきちんとして出されていますね。主婦のみなさんなどは、迷ったら近所の方に相談していらっしゃるようで、それが口コミで広がっていることも要因のようです。これからも引き続き、みなさんのご理解、ご協力をお願いしたいですね。



3月中旬まで35人の指導員が巡回しています。

#### 主婦の関幸子さん(深大寺在住)

どんな物が出せるのか、種類ごとの品目と収集日が分かるパンフレットを見やすいところに貼っています。小学生の娘も、小さなごみでも「これは何のごみ?」とプラスチック・マークを確認したり、リサイクルについて考えるきっかけになったようです。片面がコーティングされた紙など、分別に迷うものもあるので、判断の目安として、それぞれのごみがどのように処理されているかを知りたいですね。



#### アニメーションの勉強をしに来た日系ペルー人、権藤ホセさん(下連雀在住)

ごみの出し方が変わったのは知っています。パンフレットが学校の寮に貼ってあります。よく行く三鷹国際協会(MISHOP)にもパンフレットが置いてあったので、自分用に1部ゲットしました。その英語版を見て分けていくけど、十分理解できます。ちゃんと分けていますよ。「英語・北京語・ハングル版ごみの出し方パンフレット」はごみ対策課(市役所5階)でも配布しています。



ごみの出し方についてのお問い合わせ、ご相談は、ごみ対策課 ☎内線2533へ。ご意見、ご感想は ☎45-5291・✉gomi@city.mitaka.tokyo.jpへ。

市は、「すべての人がいきいきと暮らせる、バリアフリーのまちづくりプロジェクト」を基本計画の最重要プロジェクトの一つとして推進しています。すべての人が、年齢や性別、障がいの有無や国籍などにかかわらず、人権を尊重しあい、いきいきと安心して暮らせるまちをつくるためには、道路や公共施設などハード面でのバリア(障壁)を解消することとともに、社会参加、教育、人々の意識など、あらゆる分野でのバリアフリー化も課題となります。

### 新連載

## 心のバリアを 超えて 第1回 「私」を見て

「相手」にされない現実  
一人のまともな人格を持った人間として対応しない、「コミュニケーションの相手としてみない」それ自体失礼な侮辱的な行為です。しかし現実にはこのような構図自体が余りにも一般化されていて、健常者だけでなく公的関係者や障がい者同士でもこの関係の構図の中にいることがあります。

「相手」にされない現実  
一人のまともな人格を持った人間として対応しない、「コミュニケーションの相手としてみない」それ自体失礼な侮辱的な行為です。しかし現実にはこのような構図自体が余りにも一般化されていて、健常者だけでなく公的関係者や障がい者同士でもこの関係の構図の中にいることがあります。

「心」のバリアフリー推進委員会  
心のバリアフリー推進委員会は平成16年12月に、市と身体障がい者相談員(身体障がい者本人)、知的障がい者相談員(知的障がい者の親)、三鷹市障害者福祉懇談会のメンバーなどにより発足しました。

「心」のバリアフリー推進委員会  
心のバリアフリー推進委員会は平成16年12月に、市と身体障がい者相談員(身体障がい者本人)、知的障がい者相談員(知的障がい者の親)、三鷹市障害者福祉懇談会のメンバーなどにより発足しました。

市長コラム  
三鷹市長  
清原慶子  
シルバー人材センターの新拠点が生み出す活動への期待  
2月15日、三鷹市第一庁舎の完成と、(社)三鷹市シルバー人材センターがそこを新拠点とすることを記念する式典を、市と同センターの共催で開催しました。